

令和元年度 附属学校研究支援・特色化にかかわる事業実施報告書

事業の名称	「豊かな心をはぐくむ12年道德教育の推進」
事業実施代表者名	附属旭川中学校長 石塚 博樹
実施附属学校名	附属旭川中学校
事業内容 (実施内容について、 1,000字程度で記述)	<p>【目的】 道德教育上の成果を上げることはもとより、生徒指導上の課題の解消、幼児・児童・生徒の交流促進、教員の意識改革や指導力向上、特色ある学校づくりの展開、成果の発信を図り、幼小中一貫教育の最終段階にある中学校が取組の成果を見取る。</p> <p>【取組内容】</p> <p>1 「特別の教科 道德」の時間の授業公開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公開研究会・セミナーでの授業公開 ・識者による指導・助言 ・遠隔システムによる道北地区学校へのライブ授業配信 <p>2 生徒への道德性検査の実施</p>
成果と課題 (活動の成果と課題について、500字程度で記述)	<p>【成果】</p> <p>1 授業公開等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・06/21 公開研究会 第1学年授業公開 大変盛況で、授業会場に入ることができない参加者もいる中、道德の授業のあり方について提案した。附属旭川幼小中一貫した教育の核の一つについて、海老名前キャンパス長・千葉キャンパス長にも研究協議に参加いただき、附属学校の取組について理解を深めていただいた。 ・10/30 ライブ配信（遠隔授業システム） 幌延町立幌延中学校（文科指定校）からの要請により、当該校の第1学年生徒に対して、本校教員（越田 t）が「道德の時間」ライブ配信を行った。当日は、北海道教育委員会教育長の視察日と重なったことから、授業の様子を御覧いただき、「広域分散型が著しい北海道の課題解決につながる実践」として、高い評価を得た。 ・11/08 セミナー 第2学年授業公開 公開授業と併せて、教職大学院教授水上様から助言と講話を頂いた。内容は、今後の道德指導方法、展開のあり方の改善・充実の視点から、道内他地区における実践例を紹介いただき参加者は理解を深めた。 <p>【課題（継続事項）】</p> <p>2 諸検査の実施 第1学年から第3学年において、2社の検査を実施し、1</p>

	<p>社については附属小学校と同内容であることから学校間における経年変化をモニタリングする。もう1社分については、本校における指導と評価の観点から、形成的な見取りを行い、継続して教育活動の改善・充実に努めることが求められる。</p>
<p>今後の発展性 (残された課題の解決方策及び取組の方向性について、500字程度で記述)</p>	<p>「生きる力」を目指す上での「豊かな心」の育成のみならず、現在、対人スキルや自己調整能力に大きく関わる非認知能力の育成も求められている。</p> <p>このような現状を踏まえると、本事業を継続し、モデルを示すことが求められると考えている。加えて、地域が一体となって子どもを育てる気運が高まる中、幼小中が一体となって子どもを育てる視点からも大きな意味を持つ事業と考えている。</p> <p>今後は、“2 諸検査の実施”に関わるデータの分析や、学問的視座の視点(発達心理の側面など)からも大学(旭川キャンパス)と連携し、本事業を充実させていくことが大切であると考えている。</p>
<p>事業の公表状況 (事業をHPで公開した場合、又は新聞等に掲載された場合、当該媒体名、掲載日等を記入)</p>	<p>・「教育長の動きのページ(平成31年度・令和元年度)」, 北海道教育委員会HP及び北海道教育委員会のTwitter, http://www.dokyojoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ksk/kouhou/su, 令和元年11月18日</p>